



Lis Blanc

No.66

学報リスブラン(白百合)

(転用・転載を禁じます)

発行/仙台白百合女子大学 〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号
TEL 022-372-3254 URL <http://sendai-shirayuri.ac.jp>
編集/大学広報室

本号の主な内容

- 01 巻頭言
- 02 学位記授与式、入学式
- 03 Welcome Festival
- 04・05 白百合生の素顔
学修支援センター 発足
- 06-09 学長挨拶、学部長挨拶
学科長挨拶
- 10 お知らせ
- 11 新任挨拶、人事
- 12 オープンキャンパス
公開講座の予定
編集後記



学校法人 白百合学園
理事長 式井 久美子

「今は昔」近隣、通学路や教会などで、小学生から大人まで様々な方たちの憧れの的になってきたひとりの白百合生がおりました。半世紀もたつてから、その話を聞いた本人には、いくら考えても、思い当たるようなことはないのです。朝夕通る道で、顔なじみになったお店や近所の方たちと挨拶を交わし、幼い子供が自分で何かができて嬉しそうにしていると、一緒に喜んだり褒めたことはありましたが、特別なことをした覚えはないのです。

これも「今は昔」大学生の就職試験の面接指導をしていた時のことです。面接官が、「家内も白百合の卒業生です」と口を切られ、大学の様子などを聞かれただけで制限時間になってしまい、折角準備した予想問題が出なかったと落ち込んだ様子で報告に来た学生がおりました。希望通りに就職できた彼女は、卒業を目前にして、しみじみと「白百合に来てよかった」と言ったのです。受験に失敗して入学した大学というイメージからも卒業できたのでした。その企業が求めていたのは、模範回答よりも、本人の言動から感じられるパーソナリティそのものだったのではないのでしょうか。

建学の精神は、卒業後に、より一層強く広く、明らかになるように思えます。カトリックの教育理念・教育目標を基盤とする学校四種類で教育を受けた体験から、「白百合 family」の特徴は「Humility」(謙虚さ・謙遜)との結論に達した私です。それは、各自が頂いている恵みを素直に認め、感謝し・生かして、他者のために奉仕することによって、「心柔和で謙遜な」イエス・キリストが約束してくださった「心の安らぎ」に至る道です。(マタイ11章)

「白百合という家族〈family〉のつながり」は、このような信頼関係・安心感を育むものであってほしいと思います。



2013年度 第15回学位記授与式

2014年3月18日（火）学位記授与式が本学講堂にて行なわれました。総勢276名の学生が晴れて卒業いたしました。



2014年度 入学式

2014年4月3日（木）イズミティ21にて入学式が行なわれ、287名の学生を白百合ファミリーに迎えることができました。



入学式後に保護者会を行いました

入学式後に4学科それぞれで保護者会を開催しました。各会場とも多くの保護者の方が参加され、学科長挨拶の後、クラスアドバイザーの紹介や各教員の自己紹介が行われました。

各担当教員から本学の理念にもとづき、各学科のカリキュラムの説明や大学生活などについて説明がありました。保護者の方々と教員とが顔合わせを行い相互理解の場となりました。

白百合ウェルカムフェスティバル

本年度も新1年生を対象としたウェルカムフェスティバルが開催されました。第一部では、牛渡学長の開会宣言が行われ、白川学部長による司会の下、4学科長によるメッセージが新生入生に贈られました。それぞれの学科から、これからの大学における勉学、生活を送る上での期待が寄せられました。その後、クラブとサークルの紹介が行われ、先輩方の様々な演出により会場全体が大変盛り上がりしました。

続く第二部では、教員紹介をはじめ、学生実行委員会を中心にした企画が4学科ごとにあり、それぞれの特徴を出したゲームなどが行われました。入学してまだ日が浅く、期待と不安がみられた新1年生も、先輩や教職員との親睦をはかることができ、多くの笑顔を見ることができました。新1年生は、この日のウェルカムフェスティバルを通じて、仙台白百合女子大学の一員としての自覚をもち、これからの充実した4年間に向けて、新たなスタートを踏み出すことができました。

学科企画



心理福祉学科企画

学科企画は、2・3・4年生が1月から企画構想し、「大学での4年間は『自分次第』で楽しくも辛くもできる、あつという間の時間だから、大切に真剣に過ごしてほしい」をコンセプトにして進めてきました。当日、そんな熱い思いを持った先輩たちとの交流は、大いに盛り上がり1年生にとって大変貴重な時間になったようです。

(家子敦子)

人間発達学科企画

人間発達学科の企画では、15名のピアスタッフが中心となり、抜群のチームワークで新生入生を歓迎してくれました。会場の飾り付けをはじめ、プログラム全般をスムーズに演出。日頃の実習の成果が十分に発揮されました。

入学式以降、ガイダンス続きで緊張気味の新生入生も、この企画ですっかり学科の雰囲気に慣れたことと思います。

(佐々木貴弘・遊佐重樹)

健康栄養学科企画

健康栄養学科では、89名の新1年生を迎えて、2年生・3年生あわせて16人のピアスタッフの運営により、学科企画がおこなわれました。前半はクイズあり、ビンゴありで、楽しい時間があつという間に過ぎ、後半は、はじめての時間制作成でドキドキする後輩を、先輩方が熱心に面倒を見る姿がほほえましく、とても印象的でした。

(佐々木裕子)

グローバル・スタディーズ学科企画

まずは昼食をとりながら、「外国語クイズ」。その後、場所を移動して上級生リーダーが用意した学科説明や「異文化体験」(台湾での「すずめ踊り」)の映像をみました。お待ちかねの「ゲーム」では、1年生・リーダー・留学生・教職員が参加して、「ジェスチャー」や「仲間づくり」をしました。大いに盛り上がり、笑顔が満開の午後でした。

(高橋早苗)



健康栄養学科



各種文献を収集し、とても熱心に研究に取り組んでいます。一つアドバイスしたらその3~4倍は進んでしまう行動力には感心至極。



健康栄養学科
宮下ひろみ先生

藤野恵理子
健康栄養学科4年

私は現在、宮下ひろみ先生の指導の下、卵アレルギーについて卒業研究に取り組んでいます。研究では、症例検討・文献講読を元に知識を深め、卵アレルギーをもつ方でも食べることができおいしいケーキを作る事を目的としています。一般的なスポンジケーキは卵の気泡性を用いて膨らませているため、卵を使わずして美味しいケーキが作れるよう、試行錯誤している日々です。

管理栄養士は、食物アレルギーをもつ方や、そのご家族に対して、具体的な調理法についてアドバイスし、質問に答えられる知識が求められます。卒業研究の内容が将来の仕事に繋がると思うので、今のテーマに取り組み、卒業後も研究を続けていきたいと考えています。

グローバル・スタディーズ学科2年
葛綿由佳

台湾・異文化体験研修旅行で開南大学を訪問しました。開南大学では、仙台の伝統芸能の一つである雀踊りを披露しました。仙台を少しだけですが知ってもらえたのではないかと思います。また、校内

の施設案内ではグループごとでの見学でしたが大学の広さにもびっくりしました。学生さんがよく行くという、大学を一望できるラウンジは本当に綺麗でした。食堂では、学生さんたちと一緒に餃子を作り日本の餃子と台湾の餃子の作り方の違いも知ることができました。餃子を食べながら、学生さんたちと学校生活についてや日本語をどこで知ったのかを聞くことができました。日本語はアニメをきっかけにして勉強している人が多いようでした。また何かの機会に会うことができればいいなと思います。

グローバル・スタディーズ学科
高橋 泉先生

二月の研修旅行では、開南大学と静宜大学を訪問しました。両校とも大いに歓迎してくださり、大変楽しい交流のひとつきをもつことができました。



グローバル・スタディーズ学科

学生・教職員・保護者の皆さん、学修支援センターが稼働しました！

学修支援センター長 宇野 忍

センターは二号館1Fにあります。二〇一四年五月七日に開所式を行ったばかりのセンターです。センターには、静かな学習室や友だちとグループ学習ができる学習室、お弁当を食べることが出来るDKスペース、相談ができるミーティングルーム等があり、スタッフが常駐するスタッフルームには、職員山口さん、センター員の先生方がいて、対応してくれます。また、現在、学生スタッフとして、ピア・サポーターを募集しています。

センターでは、困っている勉強のことや勉強の仕方のこと、心や体の健康のこと等なんでも相談ができます。それから、皆さんに学習の場や空間を提供します。スタッフルームに行き、使いたいと言えば、学習室やDKスペースが使えます。また、センター企画のイベントがあります。例えば、五月九日夕方の「ふしぎ探検隊」(身の回りのふしぎを探検し調べ、探検の仕方を学ぶ企画)では、季節の花タンポポを採集し、タンポポの特徴を知り、「タンポポの種は綿毛で飛ぶ、じゃあタンポポの仲間のレタス(ー)にもタンポポと同じような花が咲き、綿毛で飛ぶ種ができるのか」というふしぎを

人間発達学科



観察実習では、小学校教諭をめざす仲間たちと授業や先生の動きを観察し、笑顔で子どもたちと交流していました。将来は信頼される先生になりたいと、真剣に毎日取り組んでいます。小学校教諭という目標に向かって頑張りたいと思います。



人間発達学科 中村俊哉先生

私は、一日観察実習を通して、普段の授業では学べないようなことを体験することができました。実際の教育現場で教員が働いている姿を通して授業でのコミュニケーションの取り方、子ども達の興味・関心の掴み方など、多くのことを学ぶことができました。また、先生方は自分のクラスだけではなく、他のクラスの子ともコミュニケーションを図っていると聞き、子ども達との信頼関係を築くことの大切さを実感しました。クラス内で問題が起ってしまったも真剣に向き合い解決に導くことで、やり甲斐を感じ

ることができると分かってきました。一日観察実習で学んだことを活かし、残りの大学生活を過ごしていきたいです。



心理学を学ぶためには、知識を得るだけではなく、統計や実験といった授業を通して科学的な方法も学ばなくてはなりません。慣れなくてなかなか大変なようですが、意欲的に取り組んでいてよいですね。



心理福祉学科 渡邊兼行先生

人間発達学科2年 渡邊梨沙

私は、一日観察実習を通して、普段の授業では学べないようなことを体験することができ

心理福祉学科2年 安藤季紗

私は現在、心理コースに所属しており、認定心理士と精神保健福祉士を取得するため日々勉強しています。心理学を学

ぶことは、人の行動や周りの影響するのに関心があつたからでした。実際に心理学を学ぶことで、自己のこころと向き合う機会も増え、他人への理解も深まったと感じています。そして心理学の面白さをきっかけに、人間への理解をさらに深めたいと思うようになりました。心理学の授業以外にも哲学や論理学、生命倫理なども受講しています。また心理福祉学科では、人間を福祉と心理の2つの側面から学ぶことがのできるのも、人間を理解するのにとても充実した環境にあると思います。将来的には現在している勉強を続けて、ここで学んだ福祉の精神と、人間の理解を心理職に活かしたいと考えています。



心理福祉学科

ほかにもさまざまな企画を計画中です。詳しくはHPをご覧ください。

学修支援センター企画 ワールド・クッキング
 料理の作りかた・盛り付けを学ぶ
 5月14日(日) 15時～18時

学修支援センター企画 ワールド・ファッション
 洋服の作りかた・コーディネート
 5月14日(日) 15時～18時

学修支援センター企画 なんでも相談窓口
 先輩や先生に質問しよう！
 2014/05/19 (Mon.) ~
 毎週月・火・木・金 1時間目、お昼休み、2時間目
 学修支援センター (2階 101号) ミニシアター
 受付：学修支援センター (2階 101号) スタッフルーム
 入学から卒業まで、大学生活ではわからないことや悩みを相談できる。勉強のこと、授業のこと、先輩や先生に聞いてみよう！



探検しました。さらに、近々、センターではワールド・クッキング(国には国の料理があるのでそれを作り、その国のことを学ぶ)という企画がスタートします。お楽しみに！なお、参加したい方は、スタッフルームで参加を申し込んでください。
 その他には・・・ですって？いろいろあります。ものは試し、センターに来てみて下さい。待っています。

人間学部の新体制と

教育・研究への取り組み



人間学部長

白川 充

〈人間学部の新体制〉

二〇一四年度に臨むにあたり、二月より牛渡学長のリーダーシップのもと、浅野事務局長とともに、四学科長、教務・学生・入試広報の三部長を中心に、新体制の準備をしました。二〇一四年度新体制がスタートして二か月が過ぎ、人間学部としては順調な船出となりました（勿論、学部として取り組まなければならない課題は山積していますが）。

学部長としての私の役割は、人間学部の校務運営の統括です。したがって、人間学部を構成する四学科、学部全体の校務の中核である教務部・学生部・入試広報部との連携と調整が課題であると考えています。そのため、学部運営組織として、学科長会のあり方、協

議会のあり方、四部長懇談会（学部長・教務部長・学生部長・入試広報部長）のあり方について整理し、また事務局との協力関係についても十分配慮しながら、学部運営を進めていきたいと考えています。

〈学部としての教育・研究への取り組み〉

すでに二月の準備段階より各学科長には提示したのですが、学科として、今後二年間程度の総合的なビジョン（検討課題と事業計画を含む）づくりをお願いしています。入学者対応、カリキュラム改革、いわゆる出口問題の検討、研究・教育推進の方策、当面の人事計画、事業計画とそれに基づく予算案（概要）の策定が骨子です。また教務部には、教育改革の更なる推進とカリキュラム改革への取り組みを、学生部には、学生生活の活性化とキャリア支援構想づくりを、そして入試広報部には、入試戦略の立案・実施と入試制度の検討をお願いしています。

四学科独自の当面のビジョンと、教務部・学生部・入試広報部の学部横断的な戦略が一体となって、今後の人間学部の教育と研究は

推進されていくこととなります。新体制による人間学部の今後の教育と研究の成果に期待してください。



仙台白百合女子大学のめざすもの

希望の大学をめざして



学長 牛渡 淳

四月より、新たに学長に就任致しました。伝統ある学校法人白百合学園が経営する大学として、本学をさらに発展させるために、私は、次のような「共有ビジョン」を持っています。いわば「希望の大学」の姿です。

〈カトリック大学としての品格〉

第一に、本学を「哲学を持った品格ある大学」にすることです。大学のあらゆる部分に、知性と豊かな人間性が見出される、そのような大学の姿を思い描いています。その根底には、カトリック大学としての本学の基本理念があります。これは、高い知性と豊かな精神性・人間性を持った学生を育てることでもあり、同時に、一人一人の教職員も、高い知性と倫理観、豊かな人間性を持った教職員であるということなのです。

〈優れた研究機関として〉

第二に、「クオリティーの高い教育と研究を行う大学」です。すべての学問分野で、すべての教育分野で、常に最高のもの、優れたものをめざす、そのようなハングリー精神に溢れる大学にしたいと考えます。

〈大学としての成果を社会へ〉

第三に、「社会の中で存在感のある大学」にすることです。高等教育機関としては優れた教育実践の成果を、学術研究機関としては高いレベルの研究成果を、そして、東北地方唯一のカトリック大学としては、社会の不正や差別、平和等に対する社会への発信や提言を行いたいと思います。

〈互いに高め合う体制として〉

第四に、「働く仲間を守り支えあう大学」です。学生の人間形成に責任を持つ大学は、それ自身が、互いの信頼と感謝のうちに、働き甲斐のある、成長しあう場所でないならばならないと考えています。

本学は、昨年度から、新学科体制をスタート

トさせました。「社会変化への対応」と「大学としての新たな魅力づくり」を目標とした新学科体制を通して、私は、このビジョンを実現していきたいと考えています。

〈社会的ニーズに応える 教師・保育士の育成〉

「人間発達学科」は、従来の幼稚園教員・保育士養成課程に加えて、新たに小学校教員養成課程を設置し、教師・保育士養成を目的とする学科に生まれ変わりました。近年、社会や子どもたちの変化に対応して、小学校教員の仕事はますます複雑化・困難性を増しており、中央教育審議会答申においても、大学における教員養成の質の向上と複雑な現代社会の課題に応えることを求めています。また、保育士への社会的ニーズがきわめて高いことも周知のことです。新しい人間発達学科は、こうした社会への期待に応えるべく、豊かな人間性と実践的力量のある質の高い教師・保育士を育成していきます。

〈心理学と福祉職の融合〉

「心理福祉学科」は、心理学の研究と福祉

職の養成を合わせて行う学科として新設されました。人間の心理を探究する心理学は、人間社会のあらゆる場所で応用され、魅力的な学問となっていますが、卒業後、心理学を専門的に直接生かせるような場所は限られています。その限られた場所のひとつが、福祉や医療の現場です。福祉や医療の現場では、人間を対象とする職場として、人間心理の深い理解が必須となっています。他方、高齢化社会や障がい者福祉政策の進展により、福祉職への社会的ニーズは質的にも量的にもきわめて高くなっています。本学科は、こうした社会のニーズに応じて、認定心理士資格と三種類の福祉職受験資格を提供する、新たな魅力を持った学科としてスタートしました。

〈グローバルな人材の育成〉

「グローバル・スタディーズ学科」は、現代社会のグローバル化を受けて、国内外で活躍する人材の育成を目的とした学科です。グローバル化社会の進展は、二つの「きょう」を生み出しています。地球規模の経済「競争・協力」と多文化・異文化「共生」です。こうした時代に、言語コミュニケーション能力を持ち、グローバルな現代社会の仕組みと課題

をしっかりと理解し、多様な文化や異なる民族への理解と寛容性を持つ人材が求められています。本学の設立母体であるシャルトル聖パウロ修道女会は、フランスに誕生し現在は総本部をローマに置き、五大陸三十四か国でキリスト教の理念に基づいた教育施設・福祉施設等を運営しています。グローバル・スタディーズ学科は、こうした本学独自の国際的な背景を生かしながら、欧米やアジア、オーストラリア等への留学、言語の習得、多文化社会の理解等を通じて、真の国際人を育成していきます。

〈管理栄養士のトップクラスの養成を〉

一足先に新学科体制をスタートさせ、管理栄養士養成に特化した学科となった「健康栄養学科」は、教育の質の向上に力を注ぎ、近年では、管理栄養士の国家試験合格率では、東北地方でトップクラスの実績をあげています。

〈基本理念に基づく 大学のさらなる質向上に向けて〉

四つの学科をご紹介しましたが、いずれも、

その根底には、キリスト教の愛と寛容の精神に基づいた豊かな人間性を持った学生を育てるという基本理念があります。その上に、高い知性と各学科の専門性を備えていくこととなります。こうした体制の下、現代の大学として求められる質の高い教育実践とその裏付けとなる質の高い研究活動を、よりいっそう推進していきたいと思えます。なお、昨年度末、本学は、外部評価機関である大学基準協会から基準を満たしているとの認定を受け、大学としての質の保証を得ました。今後も、さらに、自主的な質の保証のための改善を進めていきたいと思えます。



新任のご挨拶



心理福祉学科長

宇野 忍

私たちが取り巻く

人的・物的環境は、私

たちの営みのせいもあって、対処が難しい課題を次々と投げかけてきます。

この状況は、いわゆる弱者と呼ばれる人たちにより深刻なのは明らかです。

こうした状況だからこそ、「人間への深い理解を基礎に、科学的な思考力と福祉の実践力を備えた女性」を育成し、弱者を支援するリーダーとして活躍してもらおうとする本学科の存在意義があるのだと思います。

若い学生の皆さんには、願いを共有し、心理学や福祉学に関する専門的な知識と技術を持ち、しなやかな現実対応力と問題解決力を身につけて、社会で大きく羽ばたいていただきたいと願っています。

本学科の教職員・保護者の皆様と願いを共有し、学生の皆さんを支えることが、私に課せられた大切な職務であるとうと理解しています。浅学の身につきまじきものはつきものと思いますが、つまづきを糧に前進しようと思います。よろしくお願いたします。

本学科の教職員・保護者の皆様と願いを共有し、学生の皆さんを支えることが、私に課せられた大切な職務であるとうと理解しています。浅学の身につきまじきものはつきものと思いますが、つまづきを糧に前進しようと思います。よろしくお願いたします。

学科長挨拶



人間発達学科長

山口 榮一

本年度、学科長を拝

命いたしました。本学

科は三、四年次生が旧課程、一、二年次生が新課程と二つの課程で進行しています。旧課程は、心理、社会系と保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を目指す教員養成系とで構成され、新課程は教員養成系の学科となっております。学生が目指す分野はそれぞれ異なるとはいえ、私たちは単に専門的な知識、技術を教えるのではなく、キリスト教の精神にもとづく建学の精神を基礎として

いることを忘れてはけません。それは教養として、真理を求めめる姿勢として学生たちの芯となり、専門的な活動を支えるものであってほしいと考えています。それこそが本学で学ぶことの善さでもあります。学生たちには、笑顔

を忘れず、他者への思いやりを忘れず、自分の専門性を磨いてほしい。保護者の皆さまのご協力を得ながら、学科長として学生たちの専門家としての第一歩を支援していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

を忘れず、他者への思いやりを忘れず、自分の専門性を磨いてほしい。保護者の皆さまのご協力を得ながら、学科長として学生たちの専門家としての第一歩を支援していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

健康と栄養のエキスパートの育成に全力を尽くします



健康栄養学科長

菱沼 宏哉

健康栄養学科 管理

栄養専攻では、管理栄養士十名に加え、医師、薬学博士、農学博士を中心とする充実したスタッフ、最新の設備、最適なカリキュラムのもと、健康と栄養のエキスパートを

育成しています。さらに今年度入学生より、効果的な生活習慣病対策に向けた新しい形式の科目として「身体活動と栄養」を、また、スポーツ栄養士の育成を目的として「スポーツ科学と栄養」を開講し、卒業後の「健康運動実践指導者」、「健康運動指導士」資格取得へのフォローも充実させていきます。

近年の管理栄養士国家試験の合格率は約八十%以上を維持しており、卒業生は、公務員（病院、保健所、学校等）、県内外の主要な総合病院、高齢者施設等の管理栄養士として活躍しています。

この実績にさらなる輝きを加えるべく、学科長として全力を尽くしていきたいと思えます。

グローバル世界に備えよう



グローバル・スタディーズ学科長

矢口 洋生

二〇一三年度にス

タートした新生グ

ローバル・スタディーズ学科では、大学本来の「教養」と時代の要請を受けた「実践」との融合を目指しています。教養を象徴するのが四つのスタディーズコース（以下SC）です。英語学習に集中した「イングリッシュインテンシブ」SC、社会や地域を扱う「共生社会」SC、東アジアを学ぶ「グローバル文化」SC、経営やホスピタリティを中心とした「ビジネスホスピタリティ」SCです。実務を象徴するのが十五の資格群（うち六つが国家資格）です。中高の英語教育免許に加え、今年度から中学校社会と高校公民の教員免許も取得できるようになりました。

昨年開始したフロリダのディズニールドへのインターンシップ留学や、台湾の静宜大学・開南大学との交換留学についても多数の学生が関心を寄せています。皆さんが社会へ巣立つまでに自分を十分に磨き、しっかりと道を切り拓いていけるようになって欲しいと願っています。

昨年開始したフロリダのディズニールドへのインターンシップ留学や、台湾の静宜大学・開南大学との交換留学についても多数の学生が関心を寄せています。皆さんが社会へ巣立つまでに自分を十分に磨き、しっかりと道を切り拓いていけるようになって欲しいと願っています。

インカレ通信 新入生歓迎ウェルカムパーティーを 開催しました

新入生歓迎ティーパーティーを4月7日(月)ステラマリスにて開催しました。当日は新入生75名の方に参加いただきました。開催目的は「新入生が楽しく大学生活を送ってもらうため」ということで、○×ゲームや他己紹介、ブース見学などを行いました。



新入生だけでなく先輩学生として参加いただいた方からもたくさんの感動と発見がありました。

(新入生の声)

- ・友達が増えたり、百合について知ることができました。
- ・先輩方がとても優しく、お話が分かりやすかった。
- ・食堂利用を早くしてみたい。

(大学生協みやぎインカレ 専務理事 青柳範明)

第49回百合祭

百合祭実行委員会 実行委員長
国際教養学科 今野智都



10月25日・26日の二日間にわたり、百合祭が開催されます。百合祭実行委員会の活動はすでに始まっております。

昨年にはたくさんの方々にご来場いただき、成功のうちに幕を閉じることができました。しかし、成功の半面で反省点も見つかりました。今年はその反省を踏まえ委員同士で話し合いを重ね、お越しいただいた全てのお客様にご満足いただけるような企画を考えたいと思います。

また、この大学祭を通じてより多くの方に仙台百合女子大学の魅力を発信していきたいです。今年度も百合祭をよろしくお願いたします。



大学広報学生スタッフ募集

新学期も始まり新しいことに挑戦しようと思っている学生のみなさん。大学広報室の学生スタッフとして活動してみませんか。

活動内容は、年間を通じて開催される公開講座、大学広報誌「リスブラン」の制作、大学オリジナルグッズの企画開発、泉マルシェやクリスマスコンサートの企画などです。

興味のある方は、1号館3階の大学広報室までお越しください。百合の魅力を楽しんで広報できる方、お待ちしております。



募集期間

6月2日(月)～
7月31日(木)

紫山だより 通信制課程(エンカレッジコース)発足

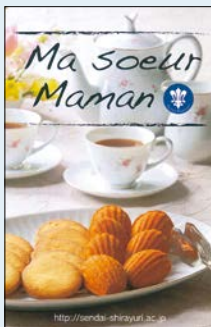
紫山キャンパスでは、全日課程に加え、今年度から新たに通信制課程—エンカレッジコース—を発足させました。今、様々な事情で、毎日、学校に通えない生徒が増えています。ミッションスクールとしてそのような生徒達一人一人に寄り添い、通信制という柔軟な教育システムを用いて高校生活を支援することを目的で立ち上げました。貧しく教育を受けることが困難な人々へ奉仕することから始まったシャトル聖パウロ修道女会の精神が土台になっています。全国でも初の女子だけの通信制課程です。落ち着いた環境の中で、様々なプログラムを通して生徒の社会性を育んでいこうと考えています。どうぞご期待ください。



また、10月には「公開授業研究会」を計画しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(仙台百合学園 リエゾン・オフィス 山田 定道)

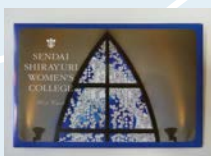
百合グッズ紹介



仙台百合女子大学では、身近な文具や生活用品などオリジナルグッズを企画してきました。

オリジナルスイーツブランド「マ・スール ママン」を立ち上げ、メゾンカイザー仙台様とのコラボレーションにより、おいしくて安心して食べられるサブレとマドレーヌを作りました。売店アミカ・ピアでは、一個の購入から予約にてお土産におしゃれなギフトボックスも購入できます。皆様是非ご賞味ください。

みやぎインターカレッジコープ仙台百合女子大学店にてお取り扱いしております。



後援会からの寄贈

後援会よりワゴン車を寄贈していただきました。



場所が移動になりました

カトリック研究所と人間発達研究センターが5号館4Fに移りました。



国際交流センターが1号館3F学生課のとなりに移りました。



新しい施設ができました

2号館の2Fに理科室ができました。



新任挨拶



心理福祉学科特任准教授
ながしま しんじろう
永嶋 信二郎

この4月から、特任准教授として勤めさせていただくことになりました。これまで愛媛県で福祉系大学の教員などを経験して参りました。授業では、社会保障論などを担当させていただいています。東北・仙台には初めて暮らすことになりましたが、東北の方のおだやかな人柄と、きれいなキャンパスの中でまじめに取り組む学生さんに触れることができ、やりがいを感じています。どうぞよろしくお願致します。



心理福祉学科講師
まつぎき きちのすけ
松崎 吉之助

皆様はじめまして。4月から勤務させていただくことになりました。先生方やスタッフの皆様にあたたかく迎えていただき、心から感謝しています。私自身は、3月まで神奈川県でソーシャルワーカーとして病院や地域で活動してきました。福祉、心理学を学ぶ学生の力になれるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願致します。

人事 *personnel changes*

新任

心理福祉学科

特任教授 青柳 育子
特任准教授 永嶋信二郎
講師 松崎吉之助

昇格

人間発達学科

教授 氏家 靖浩

健康栄養学科

教授 宮下ひろみ
准教授 鈴木 寿則

就任

学長 牛渡 淳
学部長 白川 充
人間発達学科長 山口 榮一
心理福祉学科長 宇野 忍
教務部長 氏家 靖浩
学修支援センター長 宇野 忍
人間発達研究センター長 榎石多希子
カトリック研究所長 加藤 美紀
学生相談室長 森本 幸子
校医 岡山 道子

事務局

教務課長 川村かほる
学生課長 泉田 礼子
入試広報課長 堀籠 未来
管理課長 佐藤 啓朗
庶務課長 高橋千恵子

退職

心理福祉学科 廣庭 裕
(2013年10月31日付)
学長 石出 信正
人間発達学科 佐野 裕子
心理福祉学科 青柳 育子
健康栄養学科 岩淵せつ子
健康栄養学科 猪股恵美子
(2014年3月31日付)
大学広報室 佐々木孝二
(2014年4月30日付)

学生数 1,094名
教員数 59名
職員数 41名
(2014年4月1日現在)

